氏名： 坂根 潤樹
職名： 教授
主な担当科目：企業論、人的資源論、ベーシック簿記、ファイナンシャルプランナーⅠ
学位：経営学修士
最終学歴：法政大学大学院 経営学研究科 博士後期課程 経営学専攻 単位取得満期退学
所属学会等：原価計算研究学会、ファッションビジネス学会
【主な研究テーマ】
管理会計
戦略と業績評価システム
アクティブ・ラーニング
【主な研究業績】
・「業績評価システムについての一考察」（修士論文）
・「能動的学修（アクティブ・ラーニング）への転換に向けた現状と展望Ⅰ―本学における全学的な取り組みとは―」『香蘭女子短期大学研究紀要』第 57 号
・「能動的学修（アクティブ・ラーニング）への転換に向けた現状と展望Ⅱ―本学で実践できる具体的な手法について―」『香蘭女子短期大学研究紀要』第 57 号
・「Simons のフレームワークを応用した PBL 型授業の実践と課題―フクオカきのこ大祭を事例に―」『香蘭女子短期大学研究紀要』第 59 号
・「「OHASHI OMEKASHI SUMMER」における経済波及効果の測定」『香蘭女子短期大学研究紀要』第 59 号
・幼児教育現場における業績評価に関わる予備的研究『香蘭女子短期大学研究紀要』第 59 号
・「短大生調査から見る高校時の経験と短期大学進学への誘因の変化」『香蘭女子短期大学研究紀要』第 64 号

★氏名： 遠矢 幸子
★職名： 教授
★主な担当科目：ピアサポート、社会と心理
学位：教育学修士
最終学歴：九州大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士後期課程単位取得後満期退学
所属学会等：
・日本教育心理学会、日本発達心理学会、日本グループ・ダイナミックス学会 など
★【主な研究テーマ】
・学童保育における児童の発達支援と指導員に対するコンサルテーションに関する研究
・教師の学級経営に関する個人内資源の特徴とその活用に関する実践的研究
・女子短期大学生の特性に関する研究
★【主な研究業績】
【著書】
「よくわかる学校教育心理学」2010 共著 ミネルヴァ書房
「心理学のポイント・シリーズ 児童心理学」2009 共著 学文社
「社会心理学 対人行動の理解」1999 共著 ブレーン出版 など
【論文】
摂食障がいの理解と改善に向けて 2025 単著 香蘭女子短期大学研究紀要，**67**，52-58.
女子短期大学生のソーシャルサポート特性について 2024 単著 香蘭女子短期大学研究紀要，**66**，30-34.
女子短期大学生のストレス耐性とストレス性格傾向との関連 2023 単著 香蘭女子短期大学研究紀要，**65**，33-38.
短期大学女子新入生の摂食障がいについての知識 2022 単著 香蘭女子短期大学研究紀要，**64**，77-82.
教師の学級経営に関する個人内資源の特性に関する研究 －教職経験年数の違いによる検討－ 2021 単著 香蘭女子短期大学研究紀要，**63**，85-91.
短期大学における新入生の社会的能力と大学生活適応感および対人関係特徴との関係について 2020 単著 香蘭女子短期大学研究紀要，**62**，21-28.
継続的なグループワークが学生の社会的能力の向上に及ぼす影響 2017 単著 香蘭女子短期大学研究紀要，**59**，45-50.
学童保育における遊びを積極的に活用した子どもの発達支援 2016 単著 香蘭女子短期大学研究紀要，**58**，37-46.
【科学研究費補助金研究成果報告書】
児童の教師への主体的意思伝達行動促進と教師の学級経営方略に関する社会心理学的研究 2007 単著 平成 16～18 年度科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究成果報告書
学童保育での適応困難児の発達支援と指導員のコンサルテーションに関する研究 2011 単著 平成 20～22 年度科学研究費補助金 基盤研究（C）研究成果報告書 など

★氏名：　河野　洋子（こうの　ひろこ）
★職名：　教授・図書館長・地域連携センター長
★主な担当科目：インテリア入門、インテリア販売、インテリア設計、環境設計
※学位：工学修士
※最終学歴：九州大学大学院工学研究科修士課程建築学専攻
※所属学会等：初年次教育学会

★【主な研究テーマ】
・住宅の平面認識に関する研究
・デザインの基本とインテリアの関係についての教授法
・地域との連携および協力の在り方についての研究

★【主な研究業績】（論文）
・「地域と連携した公開講座のあり方について」香蘭女子短期大学研究紀要 No65（2023年）単著
・「コロナ禍における大学初年次教育の取り組みについて」香蘭女子短期研究紀要 No63（2021 年）単著
・「地域連携報告　南区出前講座（大学版）の取り組みについて」香蘭女子短期大学研究紀要 No61（2019 年）単著
・「香蘭女子短期大学における地域連携の取り組み報告」香蘭女子短期大学研究紀要 No58（2016 年）単著
・「COC へ向けた学内活性化の取り組み報告」香蘭女子短期大学研究紀要 No56（2014年）単著
・「インテリア授業におけるグループ活動の試みについて」香蘭女子短期大学研究紀要 No55（2013 年）単著
・「生活空間の認識について」香蘭女子短期大学研究紀要 No52（2010 年）単著
・「透視図法を利用した家具スケッチ」香蘭女子短期大学研究紀要 No50（2008 年）単著
・「３次元シミュレーションソフトの授業での利用について」香蘭女子短期大学研究紀要 No48（2006 年）単著
・「主寝室の住文化的考察」修士論文（1986 年）

★氏名： 中濵 雄一郎
★職名： 教授・学生部長
★主な担当科目： 経営概論・パーソナルファイナンス・地域創生論
※学位：修士（経営学）
※最終学歴：西南学院大学大学院 経営学研究科 経営学専攻 博士後期課程
単位取得満期退学
※所属学会等：・日本ファイナンス学会

★【主な研究テーマ】
・日本企業の株式所有構造に関する応用ミクロ計量経済学の手法を用いた分析・検証。
・地域で活躍する人材育成のためのプログラム開発および理論・データ検証。

★【主な研究業績】
【著書】
『短期大学教育の新たな地平』(2018) 共著、第 3 章第 1 節（p.113-122）担当
【論文】
・「日本企業の株式所有構造の変容と 2 つのコード（コーポレートガバナンス・コード、スチュワードシップ・コード）の関係性について」（2021）
香蘭女子短期大学 研究紀要 第 64 号 p.95-99.
・「短期大学における調査研究の活用のスタンダードを目指して」(2020)
短期大学コンソーシアム九州 紀要 vol.10 p.21-27.
※小浦 康平氏（長崎短期大学 講師）との共著
・「香蘭女子短期大学 IR 委員会活動報告」(2017)
短期大学コンソーシアム九州 紀要 vol.7 p.41-45.
・「短期大学生の学修時間とキャリア形成に関する一考察」（2014）
短期大学コンソーシアム九州 紀要 vol.4 p.19-24.
・「株式所有構造の類型化に関する予備的考察」（2013）
香蘭女子短期大学 研究紀要 第 56 号 p.21-30.
・「短期大学在学生調査に関する一考察-パネルデータ分析に向けて-」（2013）
短期大学コンソーシアム九州 紀要 vol.3 p.13-18.
・「配当政策に対する株式持ち合いの影響について」（2012）
香蘭女子短期大学 研究紀要 第 54 号 p.33-42.

★氏名：　青柳　薫子

★職名：　教授

★主な担当科目：　財務会計論、ベーシック簿記、日商簿記Ⅰ、日商簿記Ⅱ、流通論
マーケティング論

※学位：修士（経営学）

※最終学歴：西南学院大学経営学研究科経営学専攻博士後期課程単位取得の上退学

※所属学会等：

・日本会計研究学会

・日本簿記学会

・財務会計研究学会

・ファッションビジネス学会

★【主な研究テーマ】

・会計利益計算論

・会計における時価情報、公正価値の研究

・会計学説研究

・流通業界、アパレル業界の会計実務に関する研究

★【主な研究業績】

□共著

・上野清貴編著[2019]『簿記の理論学説と計算構造』中央経済社。

・山下寿文編著[2007]『偶発事象会計の展開』創成社。

・上野清貴編著[2006]『会計利益計算の構造と論理』創成社。

・現代国際会計研究学会編[2003]『現代会計の国際的潮流―シリーズ簿記会計システム②』五弦社。

□論文

・「収支的貸借対照表における利益計算―コジオール学説についてー」[2021]『財務会計研究』第 14 号。

・「百貨店の会計」[2019]『香蘭女子短期大学研究紀要』第 61 号。

・「無形資産の減損」[2018] 『香蘭女子短期大学研究紀要』第 60 号。等

□発表

・「コジオール学説に関する一考察―収支的貸借対照表における利益計算―」2019 年 10 月 12 日（財務会計研究学会第 13 回大会　於：熊本学園大学　）

・「小売企業の購買プロセスと在庫管理」2019 年 11 月 16 日（ファッションビジネス学会 2019 年全国大会　於：文化学園大学）等

★氏名：　岩本　久美子
★職名：　准教授
★主な担当科目：　医療事務、医療秘書実務、調剤報酬請求事務、医療保障制度
※学位：修士（医療秘書学）
※最終学歴：川崎医療福祉大学大学院医療福祉マネジメント学研究科医療秘書学専攻修了
※所属学会等：日本医療秘書実務学会、秘書サービス接遇教育学会、情報処理学会、
日本医療情報学会、日本診療情報管理学会、日本ビジネス実務学会、
日本医療マネジメント学会、日本キャリア教育学会
※取得資格：診療情報管理士、医療情報技師、診療報酬請求事務能力認定試験（医科）、
医師事務作業補助者実務認定試験、調剤事務管理士、
電子カルテオペレーション実務能力認定試験、
Microsoft Certified Trainer（MCT）、日商文書処理技能検定１級、
秘書技能検定１級、サービス接遇検定１級、ビジネス文書技能検定１級、
産業カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント、
国家資格２級キャリアコンサルティング技能士　他
★【主な研究テーマ】
キャリア教育・キャリア支援、秘書・接遇教育、医療秘書学、情報処理学、医療情報学
★【主な研究業績】　＜論文＞
・「予期的社会化を高めるための授業内容の検討・実施」香蘭女子短期大学研究紀要 第67号　79-87（2025年）（単著）
・「汎用的スキルの変化の測定と要因について」香蘭女子短期大学研究紀要 第66号　82-91（2024年）（単著）
・「病院事務職の現状」香蘭女子短期大学研究紀要 第65号　87-102（2023年）（単著）
・「病院事務職に求められる資質・能力に関する実証研究」医療秘書実務論集 第12号　25-35（2022年）（単著）　※日本医療秘書実務学会22年度奨励賞受賞（2022.8）
・「医療秘書学科卒業生の就業実態調査 ： 早期離職者へのアンケート調査報告」関西女子短期大学紀要 第31号　1-5（2021年）（共著）
・「卒後就業実態の分析-長期就業者の調査」関西女子短期大学紀要 第30号　17-21（2020年）（共著）
・「学内技能大会における学習成果の可視化について」秘書サービス接遇教育学会　研究集録第25号　80-82　（2019年）（単著）
・「早期離職者における退職理由の分析：医療秘書学科卒業生を対象として」関西女子短期大学紀要　第29号9-15、（2019年）（共著）
・「就学環境におけるITスキル発達の違いと検証-入力速度の計測による-」東筑紫短期大学研究紀要 第48号　77-88、（2017年）（単著）
・「短大生のキャリア形成における就職支援の取り組みの試行」東筑紫短期大学研究紀要 第48号　89-109、（2017年）（単著）
・「学生のキャリア形成支援・就職支援について　教員としてキャリアコンサルタントとしての一考察」－学生アンケートからの分析－東筑紫短期大学研究紀要 第47号　81-108、（2016年）（単著）
＜学会発表＞・（事例発表）　1年次「基礎科目」における汎用スキル向上のための授業展開　秘書サービス接遇教育学会第28回研究大会　（2022年）
・（研究発表）病院事務職に求められる資質・能力について～4府県下の病院採用担当者への調査から～日本医療秘書実務学会第12回研究大会　（2021年）
・（研究発表）病院事務の新卒採用の現状～4府県下の病院を対象としたアンケート調査から～第23回医療マネジメント学会学術総会　（2021年）
・（事例発表）学内技能大会における学習成果の可視化について　秘書サービス接遇教育学会第25回研究大会　（2019年）

★氏名：　井野　智一郎

★職名：　准教授

★主な担当科目：　観光デザイン入門、ホテルビジネス概論、
ホスピタリティ検定２級対策講座

※学位：　教養学士

※最終学歴：　大東文化大学　国際関係学部　国際文化学科

※所属学会等：所属無し

★【主な研究テーマ】

・観光ビジネスの研究

・地方におけるインバウンドの可能性と問題点

・留学の効果測定と大学生の海外志向

★【主な研究業績】

氏名：　復本　寅之介
職名：　講師
主な担当科目：　情報リテラシー、Word 検定対策講座、Excel 検定対策講座
学位：修士（学術）
最終学歴：名古屋大学 大学院人間情報学研究科 博士課程(後期課程) 社会情報学専攻
単位取得満期退学
所属学会等：情報処理学会、芸術科学会、日本ﾊﾞｰﾁｬﾙﾘｱﾘﾃｨ学会、電子情報通信学会

【主な研究テーマ】
Web 技術の活用による利用者支援（展示レイアウト、イベントなど）

【主な研究業績】
共著
・『実践 情報リテラシー 基礎から応用まで』（2017 株式会社同友館）淺間正通 監修 前野博 編著、第 1 章 基本操作の確認(270p.中 pp.1~8 および pp.105~110)を担当

口頭発表
・「Scratch + Kinect による動作・運動を活用した問題解決力の涵養に関する研究（スポーツ専攻大学生への情報教育の実践）」の検討, 復本 寅之介, 第五回 社会情報学会 中部支部研究会, 2015 年 7 月
・まち歩きイベント向けの位置情報 SNS 応用システムの開発と評価, 服部哲, 復本寅之介, 横井茂樹, 速水治夫, 情報処理学会 第 118 回情報システムと社会環境研究発表会, 2011 年 11 月
・中高齢者向けインターネット支援ソフトウェア「e-なもくん 2.0」の Web 配信と利用状況の報告, 復本寅之介, 横井茂樹, 平成 22 年度 日本社会情報学会 JASI&JSIS 合同研究大会, , 2010 年 9 月
・Google Maps API を用いた動的地図による歴史支援システムの開発, 復本寅之介, 西崎浩司, 安田孝美, 横井茂樹, 平成 18 年度電気関係学会 東海支部連合大会
・ふきだし情報を用いた 3D 動作学習支援システムの提案, 復本寅之介, 桑原基彰, 安田孝美, 横井茂樹, 芸術科学会 第 5 回 NICOGRAPH 春季大会論文&アート部門コンテスト, 2006 年 5 月
・A Development of Pedestrians' Educational System for Road Safety based on Web3D Technology, 復本寅之介, 真弓智也, 安田孝美, 横井茂樹, ASIAGRAPH2005, 2005 年 7 月
・A Study on Web3D-based Exhibition-layout-simulation System for Event Halls, Toranosuke FUKUMOTO, Mamoru ENDO, Takami YASUDA, Shigeki YOKOI, VSMM2004, November 2004

★氏名：　須藤　信

★職名：　講師

★主な担当科目：　メディアリテラシー，Web クリエート演習

※学位：博士（芸術工学），修士（芸術）

※最終学歴：名古屋市立大学芸術工学研究科情報環境デザイン領域博士後期課程　修了

※所属学会等：日本映像学会，日本デザイン学会，初年次教育学会，日本人間工学会

★【主な研究テーマ】

（研究）：映像の連続性評価・分析　（制作）：映像，CG，ゲーム

★【主な研究業績】

<査読論文>　全 7 件

1. 映像のトランジション時における主観的な連続性評価と視線移動量の関連-対象物が動く映像を対象として-. 須藤信，森博子，親松和浩，横山清子.人間工学, 60(5), pp. 313-321, 2024.
2. 映像のトランジション時における主観的な連続性評価と視線の動きの関連. 須藤信，森博子，親松和浩，横山清子.人間工学, 59(6), pp. 274-279, 2023.
3. 映像のトランジション時における主観的な連続性に及ぼす影響の検討-映像文法における動きの一致手法と背景に着目して-. 須藤信，森博子，横山清子.人間工学，59(4)，pp. 168-175, 2023.

<学会発表>　全 7 件

1. Evaluation of Continuity in the Transition of Video Sequences Using Eye Movement Analysis, Makoto SUDO, Kiyoko YOKOYAMA, 44th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine & Biology Society (EMBC), July 14, 2022.
2. 複数人が同時視聴可能な SR 映像コンテンツの開発，須藤 信，日本映像学会第 47 回大会 2021 年 6 月 6 日.
3. 「手が潰される感覚」を味わうメディアアートの開発，須藤 信，山口 李々菜，日本映像学会中部支部第 1 回研究会, 2020 年 12 月 12 日.

<作品の受賞歴>　全 22 件（国内 10 件，国外 12 件）

1. “からだ”ブロックくずし，にいがたデジコングランプリ　XR コンテンツ部門，【優秀賞】，2024.
2. Something's Trigger, Roma Film Award, 【Best short film】, 2019.
3. Something's Trigger, Eurasia IMFF, 【Winner・Best Animation】, 2018.
4. なにかのトリガー，にいがたデジコングランプリ　動画・一般，【グランプリ・新潟県知事賞】，2017.